



楓の誉

R3.11.5(第8号)
文責：瀧上 佳宏

自分の頭で考えること

十一月となり、朝夕は冬の気配を感じるようになりました。新型コロナウイルス感染症も現在は下火で、このまま終息に向かってくれることを切に願っています。

ところで、先月の二十六日、日本版GPS人工衛星「みちびき」を搭載したH2Aロケット44号機が、打ち上げに成功しました。これにより、ビル街や山間部でもGPSの精度が上がるそうです。日本におけるロケットの打ち上げは、成功して当たり前になつたので、あまり大きく取り上げられません。やはり日本の技術力はすごいと感じます。H2Aロケットは、部品のボルト一つ一つまで精巧に作られており、打ち上げ成功率98%という驚異の数値は、そのような技術の積み重ねによるものではないかと推測しています。

日本の技術力の高さの背景として、よく日本人は本来手先が器用であると言われる。しかし私は、このロケット開発に携わる一人の意識の高さ、つまり自分の仕事が、ロケット打ち上げの成功にどのように繋がるのかを「自分の頭で考え」、夢と誇りを持って、各自の責任を全うしていることが、それ以上に大きく影響しているように思います。

それとは正反対に、世の中の差別や偏見、学校生活の身近なところで言えば「いじめ」のよ

うな問題は、周りの考えに流されたり、同調圧力になびいたりして、「自分の頭で考えること」をしてないが故に起きることが多いような気がします。「自分の頭で考えること」は、自分だけでなく、他者の幸福や社会全体の福利にもつながるのではないのでしょうか。

私は前期の終業式

で、「自分の頭で考

えること」について

お話をさせていただ

きました。また高橋

教頭も、それを受け

て後期始業式で「自

立と自律」について

話をしました。いず

れも本校HPにその

概要及び使用したスライドを掲載しています

ので、よろしければご閲覧ください。

また、できればご家庭でも、お子さんに「そ

れって自分の頭で考えてみた？」と尋ねたり、

「まずは自分の頭で考えてごらん。」と助言し

たりしてください。お子さんの言い分を鵜呑

みしたり、すぐにもっともらしい答えを出し

てあげたりするより、はるかにずっと本人の

成長のプラスになるものだと思います。

輝く★男女アベック九位

十月二十二日(金)に、大津町運動公園周回コースで実施された菊池郡市中学生連駅伝大会では、一・二年生のみのチームにして、男女ともに九位という大健闘の結果でした。

全体として戦力の及ばないチームにおける常套手段は「先行逃げ切り」でしょう。まずは



オンライン始業式の様子

女子の部で、第一走者の河崎さんが、なんと四位でタスキをつなぎました。それに刺激を受けたのか、はたまたアドレナリンが出たのか、後続の走者も必死で食い下がります。その結果、予想以上の大健闘、九位でした。

こうなると男子も負けていません。二年生はもちろん、他校の三年生とは親子ほどの体格差がある一年生も、自分の持てる力の全てを出し切り、こちらも大健闘の九位でした。私も正直、九位という結果でこんなに興奮したのは人生で初めてかもしれません。また、走り終わった後の選手たちの「やりきった!」というような表情に、なんとも清々しさを感

じた次第です。

事前の十分な健康管理を(修学旅行)

二年生は、十一月二十九日(月)〜三十日(火)に鹿児島方面への修学旅行に出かけます。現在それに向けた事前学習中で、外部の講師をお招きし、黒石原飛行場の歴史などについて学ぶ予定です。

現在最も心配していることは、生徒本人やご家族に新型コロナウイルス感染の疑いがある症状があれば、実際に陽性でなくても修学旅行に参加できないことです。実際に陽性にならなければ保険は適用されません。ご家族を含め事前の十分な健康管理をお願いします。



女子の部:4位で2走へ